

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 土岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	83.75	99.80	3,905	

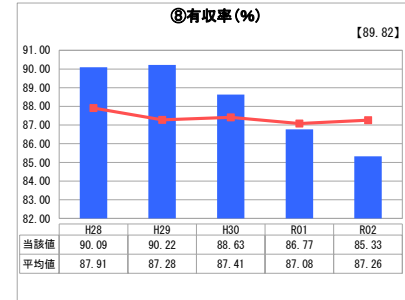
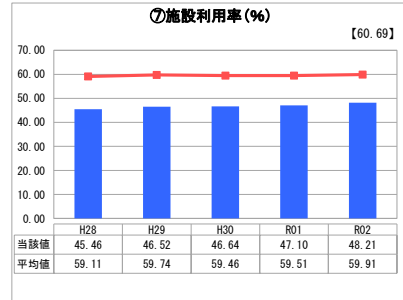
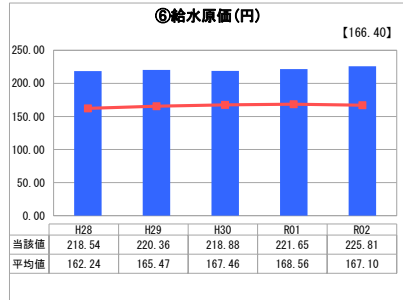
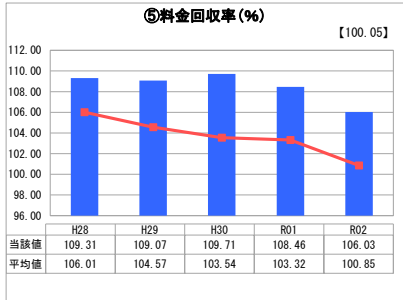
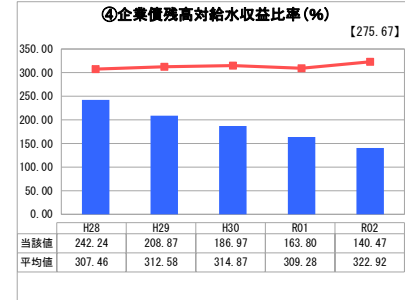
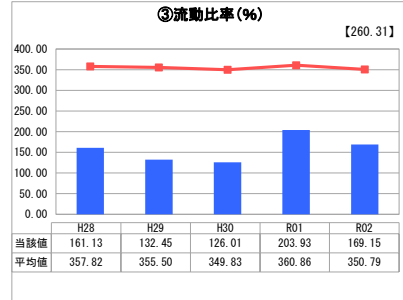
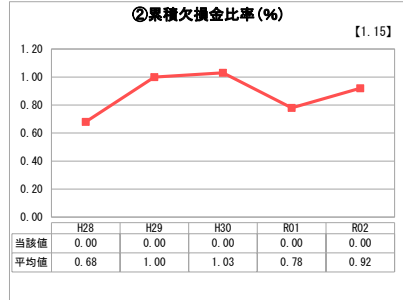
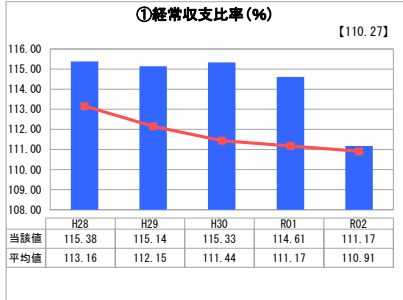
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,294	116.02	493.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,871	116.16	489.59

グラフ凡例

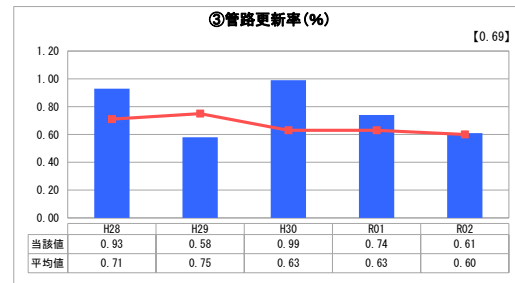
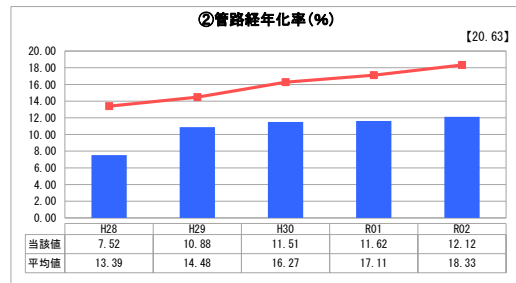
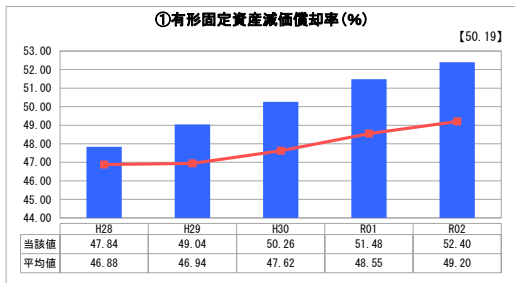
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は減少傾向にあるものの、100%を超えて黒字経営を維持しています。
 ②流動比率については、類似団体平均値を下回ってはいないものの100%を上回っており、短期的債務の支払能力を有していると言えます。
 ③企業債残高対給水収益比率は、企業債の返済が順調に進んでおり、新たな借り入れも行っていません。残高は徐々に減少し、類似団体平均値も下回っています。
 ④料金回収率は、100%を超え類似団体平均値も上回っていることから、現在のところ適正な料金設定で運営されていると言えます。地域の約7割が丘陵地でありながら、水道普及率は100%近くになります。そのため多くの給水施設を抱えており、維持管理費用が多額となっていることなどが主な要因になります。
 ⑤施設利用率は、給水人口の減少等の要因から配水量も減少し、類似団体との比較でも低い値となっており、今後の更新計画などで、施設規模の見直しが必要と考えられます。
 ⑥有収率については年々低下し、類似団体の平均、全国平均値を下回っています。そのため、令和3年度から外部委託による衛星画像解析調査、それを踏まえた現地音聴調査を行っていき、引き続き有収率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、全国平均、類似団体の平均値を超えており、老朽化が進んでいる状況です。
 ②管路経年率は、管路更新を積極的に行ってきた結果、全国平均、類似団体の平均値と比較すると低い値となっています。引き続き重要給水施設への配水管等優先順位の高いものから更新を進めます。
 ③管路更新率は、令和2年度は類似団体平均値を上回っています。維持管理や更新が主体となる事業形態へと転換したため今後も同じ状況が続くと思われるため、限られた予算の中で引き続き経営戦略等の更新計画に沿って適切な更新に努めます。

全体総括

当市の水道事業は、現在のところ比較的良好な経営状況を保っていると言えます。しかしながら、今後給水人口の減少に伴う給水収益の減少、管路を含めた老朽施設等の改修・更新費用等の増大が見込まれます。こうした状況を踏まえ、将来にわたり水道事業を安全で強靱なライフラインであり続けるために平成29年度に策定した経営戦略を活用し、計画的な施設更新を図るとともに、引き続き効率的な運営のためにできることを実践していきます。